

端末を安全に使うために～デジタルシティズンシップ教育

これからの情報社会を生きる子どもたちにとって必要な資質・能力を育む「デジタルシティズンシップ教育」の出前授業を、11月20日と12月4日に、3年生以上を対象に実施しました。講師には本校のICT支援員である山本さんをお招きし、ICT端末を安全に、そして積極的に活用する方法について、各学年の発達段階に応じて学習しました。

授業では、「学習での効果的な活用法」や「安心して使うための約束」を自分たちで考えたり、「オンラインでの友達との関わり方」や「コミュニケーションにおける責任と配慮」について深く考えたりしました。

今後も、子どもたちがデジタル機器を適切に使いこなす力を育めるよう、指導を続けてまいりますので、ご家庭に置かれましても、お子様が学校で学んだ内容についてぜひ話題にさせていただき、デジタル機器の利用状況や使い方について対話をする機会としていただければ幸いです。学校とご家庭が連携し、子どもたちの情報社会を生き抜く力を育んでいきましょう。



「来年が待ち遠しい」3年生がクラブ見学

いよいよ来年度からクラブ活動に参加する3年生が、2日に活動見学を行いました。4～6年生の先輩たちが熱心に取り組む様子を、3年生は目を輝かせながら興味深げに見学していました。スポーツ系から文化系まで、様々なクラブの活動内容に触れることができ、どのクラブを選ぶのか考える良い機会となりました。4年生になり、新しい活動の場でも充実した学校生活を送ってくれることを期待しています。



全国学力・学習状況調査の結果について

令和7年度全国学力・学習状況調査における本校6年生の分析結果を下記の通りお知らせいたします。本校では、今回の調査結果で明らかになった課題等について改善できるよう努めてまいります。

1 教科に関する調査について

(1) 成果

- ・国語、算数の正答率は、全国平均をわずかに上回っている。
- ・理科の正答率は、全国平均とほぼ同等である。

(2) 課題

- ・国語の「目的や意図に応じて読み取る力」、算数の「割合」、理科の「磁石につくもの」「電気を通すもの」について課題が見られた。
- ・全体として、「条件に合わせて書くこと」に課題が見られた。

(3) 授業改善のポイント

- ・対話活動を通じ、情報収集や伝達方法の指導を充実させる。
- ・隙間時間や家庭学習を活用し、既習内容を振り返る。
- ・条件に応じた「書く活動」を授業に導入する。

2 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査について

(1) 成果

- ・安全で安心な居場所が学校にあり、学習内容を肯定的に捉え、理解を深めることができている。また、学びの大切さや有用性を実感している。

(2) 課題

- ・家庭学習時間が不足。また、読書や新聞に親しむ習慣がない。
- ・算数は社会で役立つ認識はあるが、好きではない児童が多い。

(3) 改善のポイント

- ・学習意欲を高める授業改善を推進する。また、家庭学習の効果的な学習の支援を継続する。
- ・図書館活用や授業での活字に触れる機会を増やし、読書習慣を促進する。

いじめの認知について

10～11月にかけて全校児童を対象にいじめアンケートを実施いたしました。その結果、「誰かに嫌なことを言われたり、されたりしたことがある」と15件の回答がありました。各担任の素早く、丁寧な対応により解決に向かっておりますが、第1回目の結果報告でもお伝えしたように、学校は悪意のある・なしに関わらず、本人が嫌な思いをしたという件については、いじめにつながる可能性がある事案として捉え、「いじめ」として認知し対応しています。

今後も「いじめの見逃し0」を目指して、様々な取組を進めてまいります。ご家庭でも気になることがありましたら、いつでも学校へお知らせください。

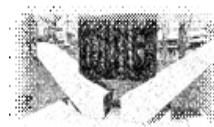
学校閉庁日について

12月29日(月)～1月3日(土)は学校閉庁日です。この期間、緊急連絡が必要な場合は、厚沢部町役場までお願いします。

【連絡先】64-3311(役場)



厚小通信



学校教育目標

- よく考える子ども
- 思いやりのある子ども
- がんばりぬく子ども
- じょうぶな子ども

Tel64-3042 Fax64-3062

2学期のウェルビーイングに感謝

校長 久慈学

長い2学期が本日をもって終了いたします。この2学期は残暑厳しい8月下旬から、雪降り積もるこの12月まで、大きな季節の移ろいの学期でもあります。その移ろいとともに各学年飛躍の5ヶ月でした。

1年生は、はじめての学習発表会。はぜるで磨いた舞台度胸をさらに生かして元気に歌い、踊りました。2年生は、11月からお決まりの「九九検定」に毎日毎日、休み時間も惜しんで取り組んでいます。冬休みもがんばることでしよう。3年生は、総合的な学習「厚沢部の森」をテーマに、各教科と結びつけながらダイナミックに学習しました。地域の方にも大変お世話になりました。

4年生は、委員会活動がすっかり板につき、日々の活動だけではなく集会でも堂々と発表することができています。5年生は館小のみなさんとともに経験した宿泊研修での学びを生かし、一人一人の成長を感じます。

そして6年生。毎日のたてわり班清掃はもちろん、今年から始まったたてわり班モルック大会、集会活動でリーダーシップを発揮して学校全体をまとめてくれています。明るく元気な6年生のカラーが、学校の中心をなしてくれています。

さて、2学期末も1学期同様、「安心な気持ちで生活することができましたか」と校長発出アンケートを実施しました。

「できた」「どちらかという 못했다」「合わせて、

98%の児童が肯定的回答でした。「できなかった」は0でしたが、「どちらかという 못했다」が2%（2人）です。2人のうち1人のみ学校生活、友達に関係することを理由にあげました。こうした正直な気持ちが出たことは私は、安心しました。集団生活を送る以上、嫌な思いを経験しないことはあり得ません。いじめアンケートもその一つです。

一方、「安心して生活できた」と回答した3年生の子が理由として書いたものの一つが心に響きました。それは、「大久さんが、立ってくれているから」。

大久さんをご存知でしょうか。大久さんとは、駐在所長さんです。朝、交差点で交通安全のよびかけをしてくださっています。この子は、登校の朝に地域のおまわりさんが自分たちの安全を守ってくれていることに、感謝しているのです。

自己中心性から脱却し、周りが見えるようになってきた3年生という発達段階にふさわしい言葉です。

一例をあげさせてもらいましたが、2学期も地域のみなさんのお力添えをいただき、大きな事故なく安全安心に過ごすことができました。また、毎日元気に、時にはそうでないときも、子どもたちの背中を押して登校させてくださった保護者のみなさん、ありがとうございます。

ご家族そろって、「ウェルビーイング」なお正月をお迎えください。